



株式会社SHIFFON

Shopifyを活用したECサイトとサプライヤー間のデータ連携を自動化

情報共有のタイムラグを最小化し、欠品リスクを防止。スクラッチ開発比で工数を半分以上に削減

株式会社SHIFFONは、複数の自社ブランドの企画・生産・販売・販促を行う他、国内外ブランドのディストリビューター事業やライセンス事業も手掛けている。同社では、2023年に約1,500もの海外ブランドを取り扱う日本最大級のインポートブランドアウトレット通販サイトを運営開始した。その立ち上げに際し、海外パートナーとのリアルタイムでのデータ連携が必要となり、基盤として「ASTERIA Warp」を採用した。これにより、最大10万アイテムの商品情報や在庫情報、注文情報の自動連携を実現。同様の仕組みをスクラッチする場合に比べて開発工数を半減。2025年4月には従来のECプラットフォームからShopifyへの移行にあたり、必要となった新機能の開発も短時間で実現した。今後は、他のショッピングサイトでの活用や人手に頼った定型作業をWarpで自動化することを目指している。

導入背景

- 海外のサプライヤーとの連携を前提とした新たなショッピングサイトの立ち上げを計画したものの、既存の社内システムでは対応が困難だった
- 商品・在庫・注文などの大量データを社外とやり取りする必要があり、手作業での運用は現実的ではなかった
- 商品在庫の変動が激しく、欠品や機会損失を防ぐには、注文から発注までのタイムラグを最小化する仕組みが求められていた

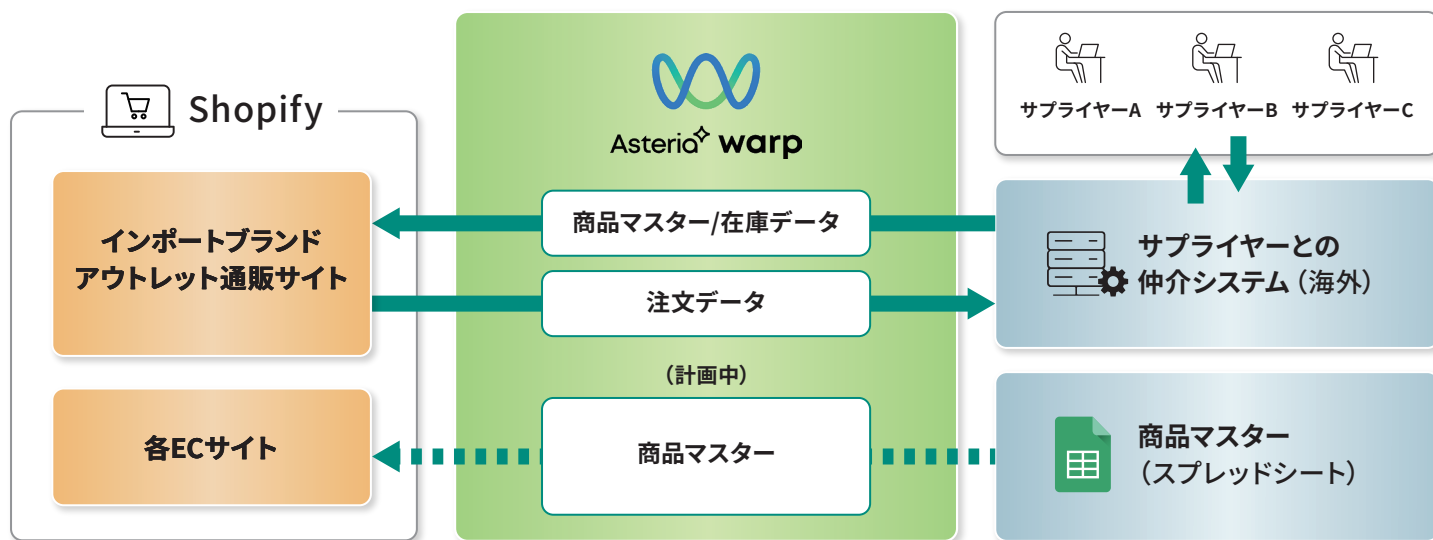
選定ポイント

- データベースアクセス、データ加工、通信処理、定期実行など、データ連携に必要な機能を網羅
- ノーコード開発環境のため、開発工数を大幅に削減でき、チームの増員も不要
- 実行環境や運用の仕組みをスクラッチで構築する場合に比べ、環境整備に要する時間と手間を大幅に短縮可能

効果

- スクラッチ開発の半分以上の工数で、サプライヤーとの双方向の連携処理を構築。Shopifyへの移行時も既存フローを活用し、短期間で対応
- 毎分単位でフローを実行し、サプライヤーへの発注情報送付のタイムラグを最小化。在庫を即時反映できるため、迅速なビジネス遂行も可能
- システムは常時安定稼働し、信頼性も高い
- ログやジョブ管理などの標準機能により属人化を防ぎ、少人数でも運用可能な体制を実現

システム概要



ユーザーのひと言



Warpはデータ加工をグラフィカルに定義できるため、マニュアルの基本的な部分を読み、数回動かしてみるだけで、簡単に連携フローを作成できます。また、一度フローを作ってしまうと、同じパターンで再利用できるため、新機能の追加も容易です。また、システムが止まったことはほとんどなく、安定性の高さも大きなメリットです。開発面でわからないことがあった場合にも、オンライン上で質問しあえるコミュニティサイトの「Asteria Park」を活用し、解決できました。いざという時に相談できる場があるのは、とても心強いです。

リテール事業本部 執行役員 武富 祐樹 様 (左)
システム開発 DX部門 青木 涼太 様 (右)

User Profile

SHIFFON

所在地：東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル18階

会社概要：紳士婦人服、紳士婦人肌着、紳士婦人服飾雑貨の企画、輸入・生産、卸販売、OEM/ODM 事業、同上の輸出、小売業、海外メーカーの代理店業務

業種：アパレル・小売業

URL：https://shiffon.com/